

立命館大学人間科学研究所主催

公開講座 シネマで学ぶ「人間と社会の現在」



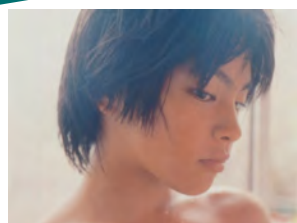
シリーズ1

『家族の現在』

企画コーディネート

中村正（応用人間科学研究科・産業社会学部教授）

神谷雅子（京都シネマ代表・産業社会学部教授）



①11月8日（土）

『誰も知らない』

講師：中村正



②12月13日（土）

『チーズとうじ虫』

講師：望月昭
（人間科学研究所所長）



③09年1月17日（土）

『ディア・ピョンヤン』

聞き手：神谷雅子

梁英姫（ヤン・ヨンヒ）監督来場



(C) ホンマタカシ

④09年2月21日（土）

『蛇イチゴ』

講師：村本邦子
（産業社会学部教授）



⑤09年3月14日（土）

『茶の味』

講師：団士郎
（応用人間科学研究科教授）

13：00 開場
13：30 開映

（終了予定 16：30）

一般 800 円

立命館大学教職員・学生

京都シネマ会員 500 円

立命館朱雀キャンパス
（JR 二条駅前）

5 F 大講義室（ホール）にて

本企画は、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築—対人援助のための人間環境研究」プロジェクトの研究成果として広く社会に発信するものです。

R RITSUMEIKAN

公開講座 シネマで学ぶ「人間と社会の現在」開催にあたって

「シネマで学ぶ人間と社会」という統一テーマのもと、フィルムアートに表象された「関係性の様態」の解説をとおして現代社会の不安や希望や課題を照らし出したい。その第一弾の企画として「家族のリアリティ」をテーマとした日本映画をとりあげる。臨床人間科学の観点から読み解く講義もおこない、人間と社会の今後にとってアートの持つ創造性・触感性・破壊性等を考えていきたい。

中村正(企画コーディネーター)

第1回 11月8日(土)

『誰も知らない』

講師：中村正

2004/141分/シネカノン

監督・脚本・編集：是枝裕和

出演：柳楽優弥、韓英恵、YOU

出生届も出されていない4人の子供を置き去りに、母親が新しい恋人と出て行く。それでも生きていかなくてはならない彼らの姿を描く。

産業社会学部・大学院応用人間科学研究科教授。専攻は、臨床社会学・社会病理学。主な著作『家族のゆくえ』(人文書院)、『男らしさからの自由』(かもがわ出版)、『ドメスティックバイオレンスと家族の病理』(作品社)など。



第2回 12月13日(土)

『チーズとうじ虫』

講師：望月昭

2005/98分/チーズとうじ虫上映委員会

監督：加藤治代

まったくの素人であった加藤治代が監督を務め、ガンに侵された母親の闘病生活と見守る祖母、そして死を追ったドキュメンタリー。

文学部・大学院応用人間科学研究科教授。立命館大学人間科学研究所所長。専門は、応用行動分析学、対人援助学。主な著作『対人援助の心理学』(編著、朝倉書店)、『応用行動分析学入門』(共著、学苑社)、『発達障害に関する10の倫理的課題』(監訳、二瓶社)。



第3回 09年1月17日(土)

『ディア・ピョンヤン』

梁英姫監督、神谷雅子対談あり

2005/107分/シネカノン

監督・撮影・脚本：梁英姫(ヤン・ヨンヒ)

<在日>コリアン2世の監督が、両親、ピョンヤンで暮らす3人の兄を10年に渡って撮り続けたドキュメンタリー。

産業社会学部教授。映画聞き手：神谷雅子

産業論などを講義。04年12月開業の四条烏丸にある「京都シネマ」代表。著書に『映画館ほど素敵な商売はない』。



大阪市生まれ、在日コリアン2世。東京の朝鮮大学校を卒業後、国内での映像作家活動を開始。97年渡米し03年に帰国後、05年初の長編『ディア・ピョンヤン』を製作。

講師：梁英姫



第4回 09年2月21日(土)

『蛇イチゴ』

講師：村本邦子

2003/108分/ザナドゥー

監督：西川美和

出演：宮迫博之、つみきみほ、平泉成

宮迫博之初主演の毒と笑いが満載の映画。破天荒な兄と生真面目な妹という対照的な兄妹の関係を中心に家族の崩壊と再生を描く。

産業社会学部・大学院応用人間科学研究科教授。専門は、臨床心理学・トラウマ心理学。女性学。主な著作『しあわせ家族という嘘』(創元社)、『暴力被害と女性 - 理解、脱出、回復』(昭和堂)など。



第5回 09年3月14日(土)

『茶の味』

講師：団士郎

2003/143分/クロックワークス、レントラックジャパン/監督：石井克人

出演：浅野忠信、三浦友和、土屋アンナ

それぞれ心にモヤモヤを抱えた家族が繰り広げるユニークなエピソードの数々を、美しい田園風景を背景に優しく綴る。

大学院応用人間科学研究科教授。専門は、家族療法・家族心理学。主な著作は、『不登校の解法 - 家族のシステムとは何か』(文藝春秋社)、『非行と家族療法』(ミネルヴァ書房)、『新編家族の練習問題 - 木陰の物語』(ゴマブックス)。



主催：立命館大学人間科学研究所

共催：京都シネマ

協賛：立命館大学生存学研究センター

協力：シネカノン

チーズとうじ虫上映委員会

ザナドゥー

クロックワークス

◆お問い合わせ先◆

立命館大学人間科学研究所 事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245

E-mail: ningen@st.ritsumei.ac.jp

URL: http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/hs/hs/index.html



当日は、公共交通機関でお越しください。自転車、バイク、車での来校はご遠慮ください。(駐輪場、駐車場はございません)